



防水材、床材ともに 時代の先を見据えた商品開発を続ける

田島ルーフィング株式会社は、1919(大正8)年に東京・三河島で建築用アスファルト防水材料を製造・販売する会社として設立。雨から建物を守る防水材料メーカーとして、アスファルト防水材をはじめ、合成高分子系ルーフィングシートやウレタン系防水材などさまざまな商品を取り揃えています。また、床の仕上げ材の製造・販売も行い、ビニル床材やカーペットタイル、長尺シートなどを扱いつつ、機能も充実させ、さまざまな建築物の幅広い用途に応えています。会社の成り立ちから、時代とともに進化を続ける製品について、田島国雄社長にお話をうかがいました。

アスファルト防水を 国内で初めて製造

当社は、1919年に私の祖父田島武長が創業しました。祖父は技術者で発明家でもあり、国鉄に勤めていた時に貨車の屋根に使う防水シート“パーマネントルーフィング”を発明。その技術をもって独立し、アスファルト防水材料を製造販売する会社を始めました。それまでアスファルト防水は国外品では存在しましたが、国内での製造は当社が最初です。

アスファルト防水は、初めは住宅の瓦の下葺き材に使われていましたが、陸屋根の建物が増えるにつれて需要が高まり、米軍施設や公団など大きな建物での採用をきっかけに一気に普及しました。

1950年にはアスファルトタイルの製造販売も開始。当時国内で床材タイルはつくられておらず、お客様からの要望でゼロから研究開発しました。塩化ビニル樹脂に可塑剤を添加して製造すると品質良く薄くできることに着目し、1953年には日本で初めて塩ビの床材「Pタイル」を発売しました。

機能が重視される防水材とデザイン性が重視される床材で、要求されるものは異なりますが、お客様の要望に応えながら、それぞれの技術が相乗効果を生み発展してきました。

施工性の高い防水が 改修現場でも多く採用される

アスファルト防水は、改良を重ねな

がら現在も防水材の主流として使われていますが、当社ではその他にも用途により多岐にわたる商品を取り扱っています。

温度特性や耐久性能を高めた改質アスファルトシート防水は、溶かさず常温で接着できる工法と、バーナーでアスファルトを溶かして貼り合わせるトーチ工法などがあります。工期が短い塩ビ樹脂が原料の合成高分子系ルーフィングシートや、複雑な部位でも施工可能なウレタン系の防水材は、改修現場で多く採用されています。

また、加熱型高性能改質アス塗膜防水材と改質アスファルトルーフィングを組み合わせた「プライムアス工法」は、高い耐候性を保ちながら省工程を実現し、次世代の製品として展開しており、近年注目を集めている都市現代木造建築への採用も広がりを見せています。



都市現代木造建築への高耐久防水採用事例「アーブル自由が丘」 設計・監理／(株)内海彩建築設計事務所

特殊な場所に対応する さまざまな機能の床材を用意

床材は、意匠性の高いものはもちろん、病院の手術室で重量物の移動に耐える「移動荷重用フロア」など、特殊な場所にも対応する製品を数多く扱っています。また、改修工事で採用されることも多いため、お客様が業務を止めずに施工できる工法も用意。今後は、豊かさや高級感、楽しさをアピールできるように、ニッチだけれどハイレベルなものにも対応しようとしています。



置敷き工法で工期の短縮も図れ、オフィスや飲食店の改修にも最適な「レイフラットタイルノーワックス」

当社の理念は「和」「革新」「技術」です。防水材、床材ともに、今後もお客様とのコミュニケーションを大切に、メーカーとして先を見据えた独自の商品の開発を進め、皆さまにご提案していきます。

TAJIMA 田島ルーフィング株式会社

<https://tajima.jp>

屋根葺き材ならびに防水材料の製造・販売、床材の製造・販売を行っています。

本社 東京都千代田区岩本町3-11-13 田島ビル

■本社内の東京ショールーム ELab [エラボ] ではさまざまな床材を体感できます。ご利用の際はHPの「ご来場予約フォーム」または電話で予約が必要です。

TEL: 03-5821-7746 開館時間: 10:00~17:30 休館日: 土日祝日、年末年始など



東京ショールーム